

work, together, anyone

2021年3月発行

# きらりとまくまく

第19号

特集 『採用面接』

The background of the cover is a light beige, textured paper. It features abstract graphic elements: a large teal circle with a smaller teal circle inside it, surrounded by various sizes of teal and light blue circles and squares. At the bottom, there are several pink squares and rectangles of different sizes, some overlapping. A thin teal line curves across the top of the page, separating the header from the main content area.



突然ですが、簡単なクイズから始めてみたいと思います。  
採用面接の場面で、以下のような行動をあなたはどう思いますか？  
OKと思う場合は○を、NGと思う場合は×をつけてみてください。

- ( ) 難しい質問だったので「わかりません」と答えた
- ( ) 話がまとまらず長くなった
- ( ) 「どうぞ」と言われる前に着席してしまった
- ( ) 「当店のご利用は？」という質問に「ありません」と正直に答えた
- ( ) 趣味は？と聞かれ「スマホでゲーム」と答えた

### 面接での正解って？

さて先ほどのクイズはいかがだったでしょうか？  
実は、このクイズには正解がありません。



就職活動のときに誰もが悩むのは「何が正解なのか？」ということかと思えます。  
しかし、何が正解なのかは実際のところ会社や面接官によって変わるので。  
同じ質問をしたとき、全部×という面接官もいれば、全部○という面接官もいます。本人が「しまった！」と思うことでも会社の人からは「話しやすい人だな」と思うこともあります。

今のクイズで×が多かった人は「だめなところを見せてはいけない」傾向が強いかもしれませんが、「しっかりしたところを見せる」というのも確かに大事ですが、この「だめなところ」にその人らしさが表れることもあるのです。

採用面接は「だめなところを見せない」「ハマをやってはいけない」というプレッシャーが生まれやすいのですが、大切なことは相手に「一緒に働きたい」と思ってもらえるかどうかです。嘘をついたり、背伸びをしたりしてまで自分を大きく見せても、それがいい印象になるとは限りません。

よく面接官が「緊張しなくていいですからね」と言いますが、自然体が見たい、というのも会社の本音かもしれません。また、面接官も何を聞けばいいのか、ということを迷いながら面接をしていることも多いので、緊張はお互いに行っているとも言えます。

### 自然体？ あなたらしさ？



じゃあ、普段どおりでいいの？ と思われるかもしれませんが、最低限面接において気をつけたほうが良いこともあります。代表例として以下のような事があげられます。

## 面接のポイント5選

- ① 相手の目を見る
- ② 明るい表情
- ③ 正しい姿勢
- ④ 清潔感のある服装
- ⑤ 聞こえる声の大きさと話す



#### 01 相手の目をみて話す

あなたときちんと話すつもりです」というメッセージになります。怖くて目が見られない、という人も多いと思うのでそんなときは相手の鼻やおでこを見てみましょう。

時々目をあわせる程度でOK!

#### 02 明るい表情

緊張すると表情は強張り、相手に与える印象も固くなります。面接中ずっとでなくともよいので少し笑顔を見せられると相手に優しい印象が伝わります。また、正しい姿勢からは誠実さが伝わります。

check 明るい表情  
少し笑顔で優しい印象

#### 03 正しい姿勢

髪型：黒か濃い茶色が無難  
寝ぐせチェック!

check 襟やネクタイのズレなどチェック!

check かばんは倒れないものが置きやすいです。

check 靴の汚れチェック!

check 正しい姿勢  
背中を丸めていませんか？

check 深く座りすぎず、背もたれにはもたれない程度に座る。

#### 04 清潔感のある服装

「身なり」という事前に準備ができるところで面接スタートから減点になるのは損ですね。無難なのはやはり男女ともにスーツです。また、手ぶらではなく、かばんもあるほうがよいですね。

#### 05 聞こえる声の大きさ

緊張すると声が小さくなったり、逆に大きくなりすぎたりすることがあります。  
相手に伝わりやすい音量を心がけましょう。

### まとめ

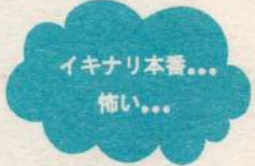
簡単ですが、今号は面接についてみてきました。採用面接は合否という結果が必ず出ますが、筆記試験のように正答が1つしかないものでもありません。合っているか間違っているかをあまり考えずに、自分の思いを伝えられるといいですね。





## 【面接の事前練習】

緊張や不安の強い人は採用面接に備えて事前に練習するのもひとつです。この場合ロールプレイという手法がおすすめです。誰かに面接官役をやってもらい、実際に近い状況を作って模擬面接を行う方法です。よりリアルにするためには履歴書や求人票も準備しておくとい良いでしょう。よく聞かれる質問(志望動機、配慮点、通勤経路、長所短所など)をうまく答えられるように、という意味ではスキルアップの練習になる部分もありますが、実際には想定外の質問も多いので、練習を通じて高めるのはスキル以上に度胸の部分と言えます。練習を通じて「場馴れ」しておくことで緊張や不安を下げる効果があります。



## 【支援者同行面接という手段】

障害者雇用の場合、一人で面接に行ってももちろんよいのですが、加えて支援者が同行して採用面接を受ける、ということも最近では一般的になってきました。一昔前までは「面接も仕事も一人でできて当然」という風潮がありましたが、「支援を受けながら働く」という働き方が主流になりつつあります。「自分で全部ちゃんと答える!」というのも大事ですが、発言を支援者から補足してもらったり、自分では説明が難しいところは説明してもらったりすることも可能となります。そもそも「この人には支援者がいる」ということが採用に有効になることが増えてきています。

一人での就職活動が不安な方はお近くの就業・生活支援センターや就労移行支援事業所、ハローワークなどに相談してみてください。



おしごと相談  
「コモドチャット」

アンダンテでは、LINEを使ったオンライン相談を行っています。  
病気や障害をお持ちの方や自宅からなかなか出づらう方などを対象に働くことについての相談を無料で行ってあります。  
興味のある方は右のQRコードより「友だち追加」をお願いします。



次号予告

次号は「働き方を考える」をテーマにする予定です。

バックナンバーはこちらから <https://andante-station.jimdofree.com/>

